

吉備中央町立大和小学校

・児童数 66名 ・学級数 7学級 ・教職員数 16名（平成26年10月20日現在）

○取組実践のキーワード

知識・理解及び技能の習得

○標題（研究主題）

自らの学びを高める児童の育成 ～算数科の指導を通して～

○取組を始めた経緯

毎年実施している標準学力検査（NRT）や全国学力学習状況調査の分析結果から、算数科の基礎的な知識・理解及び技能の定着が十分でない児童が多いことが明らかになった。そこで、知識・理解及び技能の習得を目指した授業改善、学習意欲の向上、基礎・基本の定着を図る取り組み、家庭と連携などを図りながら、学力を支える生活基盤づくりに取り組むこととした。

○取組の実施体制

平成25年度から、吉備中央町教育研修所、魅力ある授業づくり徹底事業の指定を受け、3つの部会を設置し、学力向上のための取組を行っている。

- ・ 授業力向上部 児童や学級の実態に応じた習得型授業展開の工夫。
- ・ 学力向上部 児童の学習意欲の向上。基礎・基本の定着を図る。
- ・ 生活習慣向上部 家庭との連携を図りながら、児童の学力を支える基盤を作る。

○学力向上に向けた具体的な取組

【算数科の授業展開の工夫】

- ・ 学級の実態に応じた授業展開の工夫。（まとめからのめあて作り、適用題や練習問題の充実など）
- ・ 授業でのモデルづくりや板書の工夫、赤ペンを使ったねらいのある机間指導。

【算数科の授業以外での取組】

- ・ 計算タイム（毎週火曜日始業前15分間）

計算力と集中力の向上をねらいとして、基本的な四則計算練習を行う。学年ごとに目標タイムを設定し、繰り返し練習を行う。

- ・ パワーアップタイム（毎週水曜13:15～13:30）

岡山県学習到達度確認テストを利用した発展学習に取り組む。前半の7分で記述式の問題に絞って取り組み、後半8分間で解き方や正答の解説を行う。

- ・ 学級の実態把握と各学年の学力向上プランの作成

全国学力学習状況調査、標準学力検査や業者テスト、アセスメントシート、大和小学校学習アンケート、Q-U（第5学年）の結果など、多面的に分析して実態把握を行う。実態から各学年に応じた学力向上プランを作成し、学級の実態に応じた指導の改善を図る。

【家庭との連携】

- ・ 家庭学習の手引きを毎年見直し全校に配布。学級懇談などで活用して啓発を行う。

- ・ 「やまとっこ元気カード」を毎月実施し、生活習慣や家庭学習の時間などをチェックし定着を図る。
- ・ 学校保健委員会で、嘯むことや家庭学習、規範意識について保護者が主体となった研修会を行った。
(親育ち応援学習プログラムの活用)

○現在までの取組の成果と課題

1 成果

- ・ 平成26年度の標準学力検査（NRT）において、昨年度に比べて全学級の偏差値平均が上昇した。研究を進めてきた算数科だけでなく、国語科においても同様の結果を得ることができた。
- ・ 毎年実施している「大和小学校学習アンケート」では、「算数が好きだ」「授業内容がよくわかる」「既習事項を使っているいろいろな問題を解きたい」という児童が平成25年度よりも増えた。
- ・ 家庭学習やテレビやゲームの時間など児童や保護者の意識は高まってきた。少しずつ改善の方向に向かっている。以後、「NOスクリーンデー（毎月0のつく日）」の取組を始めている。

2 課題

- ・ 平成25年度から2年間、算数科を中心とした知識・理解及び技能の習得を目指した授業改善を行っている。今後は、習得型授業展開を他教科へも広げていきたい。
- ・ 様々な調査やアンケートから全体的な学力の底上げができてきているが、上位層の児童が伸び悩んでいる。上位層の児童をどのように伸ばしていくかが今後の課題である。
- ・ 現在の様々な取組が形骸化しないように、児童の実態を捉え、毎年見直しや改善をしていきたい。

○取組の継続・発展の要因

- ・ 全職員で共通理解の下、全員で授業改善に取り組むこと。
- ・ 毎週の計算タイムやパワーアップタイムなど、ねらいを明確にし、取組を全体で続けることや積み重ねること。
- ・ 様々な調査やアンケートなど客観的・多面的な実態把握を継続すること。
- ・ 児童や保護者へ取組の内容や結果を配布物や掲示で伝え、意識や意欲を高めること。
- ・ 家庭学習や家庭生活について、保護者が主体的に考えて実践したこと。

○管理職・中核教員等のアクション

- ・ 富山県富山市立五福小学校への研究主任を派遣（1週間）したこと。
- ・ 研究推進委員会を計画的に実施するとともに、議題に応じて各部長や授業担当者を出席させたこと。
- ・ 研究推進委員会等で決定したことは、管理職の協力で、学校の方針に反映させたりしたこと。

○その他の資料・写真等



《児童の理解を確認や修正を行う机間指導》



《計算タイムの様子》



《自主学習コーナーを見る児童》